

お客様、沿線の皆様、 関係業務機関との連携

8 - 1 お客様とともに

鉄道を安全にご利用いただくため、異常が発生したことを乗務員に知らせる設備をホーム、車内に設置しています。また鉄道を快適にご利用いただくため、お客様、沿線の皆様にPR活動を行っています。

お客様・沿線の皆様へのお願い

■ ホーム上の安全設備

お客様が列車に接近された場合や、ホームから転落された場合など、列車を停止させるために、「非常停止ボタン」の使用をお願いいたします。



■ ホームにおける安全推進キャンペーン

ホームからの転落防止等、ホームでのお客様の安全を確保するため、駅や車内での放送のほか、ポスター掲出や情報モニターの映像放映等を通してさまざまな啓発活動を継続的に実施しています。具体的には、お客様同士の思いやりのお声かけの呼びかけのほか、スマートフォンや携帯電話を使用しながらホーム上を歩くいわゆる「歩きスマホ」の危険性についての注意喚起、ホームで危険を認めたら非常停止ボタンを押していただくお願いなど、ホームの安全に関わる様々な角度から注意喚起やお願いを行っています。



■ 車内の安全設備

車内において犯罪行為が発生した場合など、異常を乗務員に伝えるために、通話装置の使用をお願いいたします。



踏切の安全設備

踏切内に車が立ち往生するなど、異常が生じた場合に、非常ボタン（踏切支障報知装置）の使用をお願いいたします。ボタンを押すことで関係する信号機に停止信号を表示させます。



【非常ボタン（踏切支障報知装置）】

乗車マナーアップの取組み

当社では、お客様に列車を快適にご利用いただくため、乗車マナーアップの各種取組みを実施しています。具体的には、駅・車内での啓発放送、ポスター掲出とお客様へのお声かけ、学校訪問などを実施し、乗車マナーの向上を広く呼びかけています。



【乗車マナーアップポスター】

AEDの設置

当社では、心室細動を発症された方への有効な応急処置機器として、AED（自動体外式除細動器）を新幹線の全駅と在来線の主な駅の改札口付近とホームに設置し（55駅141台）お客様にも操作していただけるようにしています。

また、新幹線の全編成の車内にAEDを搭載し、お客様の救命救急体制により一層の万全を期しています。



【ホーム上のAED】



【車両搭載のAED】

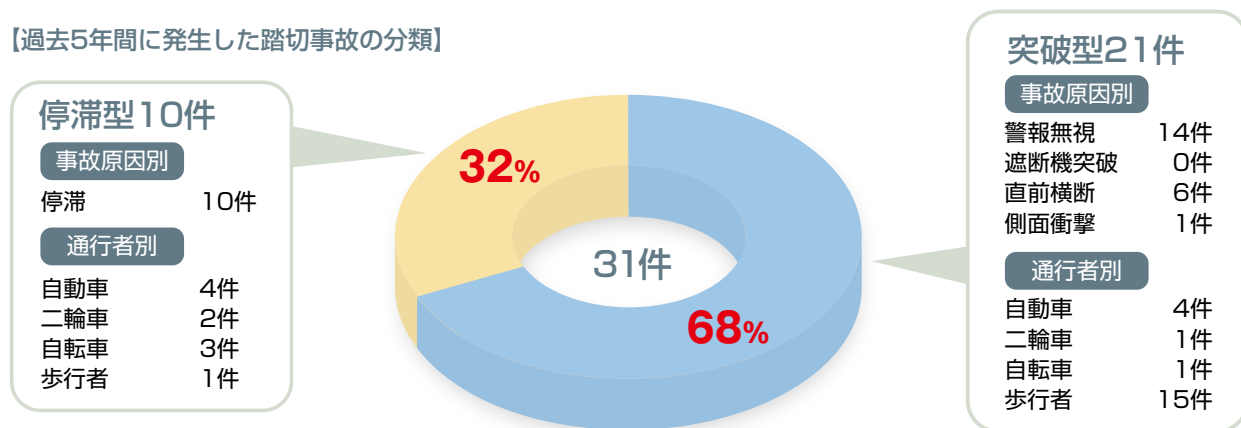
8 - 2 沿線の皆様とともに

鉄道の安全性向上のため、踏切事故や置石・線路内立ち入り、橋桁への衝突事故、飛来物等を防止するPR活動を行っています。

踏切事故防止キャンペーン

踏切設備の改良により、踏切障害事故は大幅に減少しているものの、警報開始後に踏切に進入する無謀な行為による事故が依然として発生しています。

【過去5年間に発生した踏切事故の分類】



当社の取組みだけでは防げないこのような事故に対し、踏切通行時の交通ルールを守っていただくため、例年、春・秋の全国交通安全運動では警察等と連携し、踏切で通行者にノベルティを配布し安全通行の呼びかけなどを行っています。

さらに自治体や自動車学校等社外関係機関への訪問、当社ホームページ内に踏切事故防止に関する専用ページを設けるなど、踏切を安全に通行していただくためのPR活動も実施しています。



【踏切事故防止専用ページ】



【ノベルティの配布】

鉄道妨害防止運動

毎年学校が夏休みに入る前に、悪戯による線路上への置石等を防止するため、鉄道妨害防止運動を実施しています。具体的には、駅を利用される方へのPR活動、小学校、自治体、鉄道警察隊への協力依頼をはじめ、線路巡回、沿線パトロールの強化、立て看板の設置、線路内立ち入り防護柵の点検整備等を行っています。



【幼児、小学生への呼びかけ】

飛来物妨害防止運動

毎年、ビニール袋、シート、凧などの飛来物が架線に引っ掛かり、列車の運転を妨げることを防止する取り組みを実施しています。具体的には、鉄道沿線の市町村、企業、小学校等に訪問し、輸送障害につながる危険性についてご説明するとともに、駅構内や車内におけるPR放送により、飛散防止を呼びかけています。

リニア・鉄道館

2011年3月に名古屋市港区金城ふ頭にオープンした「リニア・鉄道館」は、東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまでの展示を通じて「高速鉄道技術の進歩」を紹介しています。

歴代の新幹線・在来線を含めて39両の実物車両の展示に加えて、子供から大人まで楽しめる各種シミュレータや、夜間作業を含む「鉄道の24時間」を表現した鉄道ジオラマ、新幹線や超電導リニアのしくみ、鉄道の歴史等について体験しながら楽しく理解してもらえる展示コーナーを設置しており、当社の安全・安定輸送にかかる取り組みについて理解を深めることのできる施設となっています。



【外観】



【車両展示】

8 - 3 関係業務機関とともに

地元自治体・消防などの関係業務機関と協力して事故防止を図るとともに、事故が発生した場合の負傷者の救出、お客様の避難誘導、および事故復旧を確実に実施するため、様々な訓練を実施しています。

災害救急救助訓練

2020年9月1日、中津川駅構内において警察、消防と合同の災害救急救助訓練を実施しました。大規模地震の影響により走行中の列車が踏切内で脱輪した自動車と接触した想定で、乗務員による列車防護、指令等への連絡・打ち合わせ・報告、避難梯子を使用した車内旅客の救護・誘導、消防・警察と連携した負傷者の救出作業を実施し異常時対応力の向上を図りました。



【災害救急救助訓練】

■ 車両構造研修会及び訓練会

2021年3月25日、静岡車両区で消防救助隊員を対象にした車両構造研修会を実施しました。この訓練は、人が列車と触車した際に、救助活動を行う救急隊員に車両構造の知識を習得していただくことで、人命救助を最優先とした上で、二次災害の防止ならびに早期の輸送確保を図ることを目的としています。静岡県内の消防本部を中心に36名が参加しました。

当日は、車両設備の取扱いや事故発生時の連絡体制に関する机上説明を行ったうえで、消防の資機材を用いた実車のジャッキアップ訓練を行い、消防救助隊員の車両構造知識の習得を図りました。



【救助隊員によるジャッキアップ訓練】



【当社社員による机上講習】

■ 不審者対応訓練

駅構内で不審者を発見した場合に備え、不審者対応訓練を定期的に変更しています。

2020年12月8日に三河安城駅で実施した訓練は、不審者が、駅ホームから線路内に立ち入り逃走したとの想定で、駅係員による110番通報や駆け付けた警察官による不審者確保など、有事の際における警察との連携を一層強化することができました。



【警察と連携した不審者対応訓練】

■ 早期運転再開訓練

線路内に立ち入った人と列車との触車事故が発生した場合、負傷者の救出や警察等の現場検証などにより運転再開までに多くの時間を要し、お客様に大きなご迷惑をお掛けする恐れがあります。そこで、このような事故が発生した場合にも、迅速かつ確実な対応により早期に運転を再開できるよう、2020年度も警察署や消防署と連携を図りながら、連絡体制や現場への立ち入り手順、負傷者の救出方法などを確認する訓練を実施しました。



【警察・消防と連携した早期運転再開訓練】